

2018年度  
(通算第7回) 初年次教育部門

# 教育実践・研究発表会

本学では、「違いを共に生きる・ライフデザイン」と「日本語表現 T1」の2科目を、新入生全員が受講する〈基幹科目〉に位置づけています。基幹科目が目指すのは、大学の理念を理解し、多様な価値観に触れ「共生」を模索するなかで自分自身と向き合うこと、そうした思考のプロセスを自分のことばで論理的に説明する確かな表現力を養うことであり、これは次代を生き抜く力の基盤となります。

このたび、上記〈基幹科目〉を中核とする初年次教育部門の学修支援と、各学科・専攻の導入教育ならびに初年次教育との連携に資することを目的とした「教育実践・研究発表会」を開催します。「10年先、20年先に役立つ人材の育成」を目指し、現場ではいまだどのような教育指導が求められているのか、問題意識を共有する場になれば幸いです。

お気軽に会場まで足をお運び下さい。

日時

2019年3月5日(火)  
15:00～16:50

会場

K1会議室  
長久手キャンパス研究棟2階

## 研究発表

### 本学入学者の現状と課題

—「新入生学習力調査」の結果をどう活用するか—

[発表者] 初年次教育部門長・創造表現学部教授 永井 聖剛  
初年次教育部門助教 下岡 邦子  
初年次教育部門助教 木下奈津紀

### 「日本語表現T2」必修化後3年にみる成績の推移と学修への取り組みについて

—医療貢献学科言語聴覚学専攻1年生の事例から—

[発表者] 初年次教育部門講師 杉淵 洋一

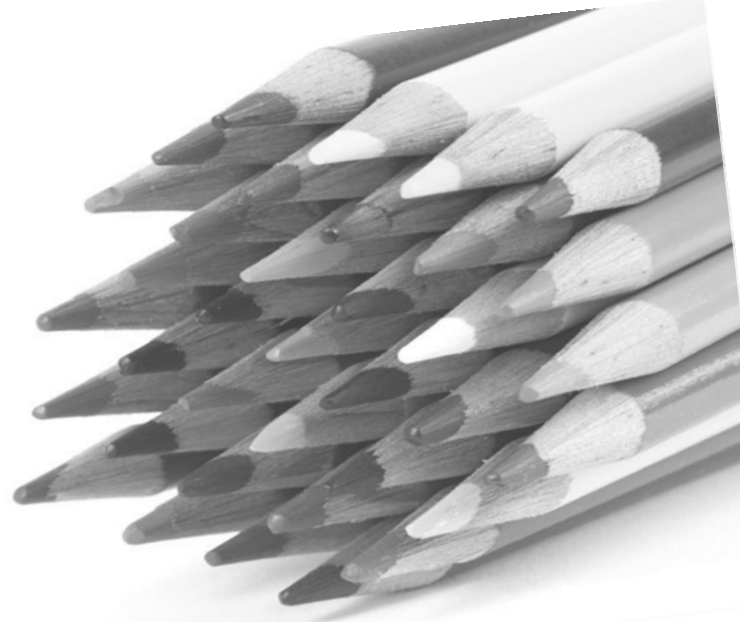
### 学部生を活用したライティング支援の現状と課題

—他大学ライティング支援施設との交流をととして—

[発表者] 初年次教育部門教授 外山 敦子  
初年次教育部門助教 増地ひとみ

## 問い合わせ先

初年次教育部門 担当：外山敦子  
内線〈長久手〉2321 / atoyama@asu.aasa.ac.jp



## プログラム及び発表概要

15:00	主催者あいさつ 初年次教育部門長・創造表現学部教授 永井 聖剛
15:10	<b>本学入学者の現状と課題</b> —「新入生学習力調査」の結果をどう活用するか— 初年次教育部門長・創造表現学部教授 永井 聖剛 初年次教育部門助教 下岡 邦子 初年次教育部門助教 木下奈津紀  <b>【概要】</b> 本学では、毎年年度はじめに新入生に対して「新入生アンケート[学習調査票]」「学習力調査 国語」(以下、まとめて「新入生学習力調査」と記す)を実施している。本発表では、これらの調査結果を総合的に集計し、2010年代の本学新入生の諸傾向を多角度から分析する。また、本学入学者の実態に即した高大連携教育のあり方についての提言も行いたい。
15:40	
15:45	<b>「日本語表現 T2」必修化後3年にみる成績の推移と学修への取り組みについて</b> —医療貢献学科言語聴覚学専攻1年生の事例から— 初年次教育部門講師 杉淵 洋一  <b>【概要】</b> 健康医療科学部医療貢献学科言語聴覚学専攻1年生における履修科目として「日本語表現 T2」が必修化されてから3年が経過した。これを機会に、受講学生の3年間の成績の推移を学習への取り組み姿勢と相関的に分析することによって、当該科目の必修化に伴う効用と問題点を可能な限り明らかにしたい。
16:15	
16:20	<b>学部生を活用したライティング支援の現状と課題</b> —他大学ライティング支援施設との交流をとおして— 初年次教育部門教授 外山 敦子 初年次教育部門助教 増地ひとみ  <b>【概要】</b> 本学のライティングサポートデスク(WSD)では、学部生がチューター(文章指導員)を務めている(指導は一部の初年次科目に限定)。同様の取り組みをおこなう大学は全国的に極めて少なく、チューター採用・育成のノウハウや成果を共有する目的での情報交換が始まりつつある。本発表では、直近1年間で交流があった複数の大学施設の実践を本学WSDと比較しつつ紹介し、学部生チューターを活用したライティング支援の成果と課題について報告する。
16:50	

※ 発表資料のみご入用の方は、外山敦子(内線<長久手>2321/atoyama@asu.aasa.ac.jp)までご連絡ください。